



第130期
中間報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日





ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第130期第2四半期累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、中間報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 新家 啓 史

事業の経過及び成果

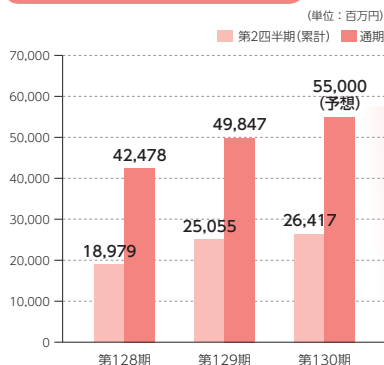
当第2四半期連結累計期間の当社グループをとり巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が更に進む一方、ウクライナ情勢の長期化に伴う世界的な資源価格の高騰や欧米各国の利上げを起因とする円安の進行等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は264億17百万円（前年同期比5.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は8億6百万円（前年同期比51.5%減）、経常利益は16億3

百万円（前年同期比27.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億21百万円（前年同期比42.0%減）となりました。

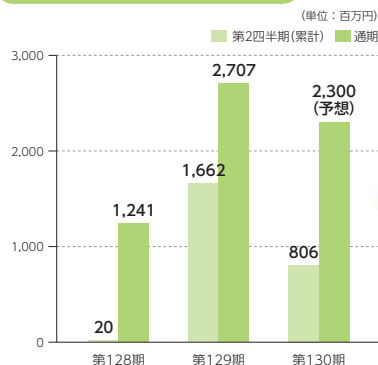
なお、中間配当につきましては、期初の計画通り実施を見送らせていただきたいと思いますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

売上高



第2四半期
売上高
5.4%増
(前年同期比)

営業利益



第2四半期
営業利益
51.5%減
(前年同期比)

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰や急速な円安の進行について未だ収束の兆しは見えず、依然世界経済の先行きは極めて不透明となっております。

このような状況の中、当社は『「伝える」「はこぶ」未来をカタチに!』をスローガンとする第12次中期経営計画(2021～2023年度)の2年目を迎えております。「EV化」に対応した技術や高度塑性加工技術、表面処理技術など、

「強み」とし磨き上げた技術で新たな市場に果敢に挑戦し、一人ひとりの力を集結し事業課題をやりきること、創立100周年に向けた更なる成長の土台を構築すると共に、社会の持続的な発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

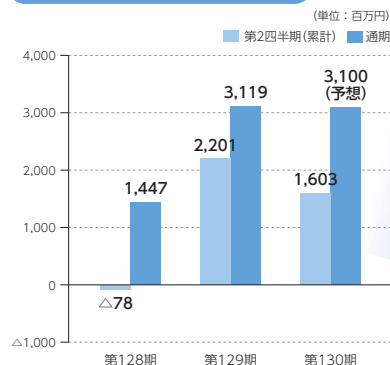
第130期(2023年3月期)業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
連結	55,000	2,300	3,100	2,000

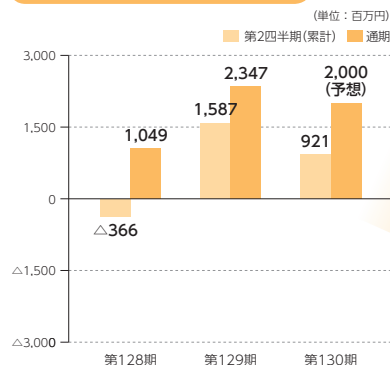
(個別業績は売上高27,600百万円、経常利益1,200百万円、当期純利益900百万円の予想です)

経常利益



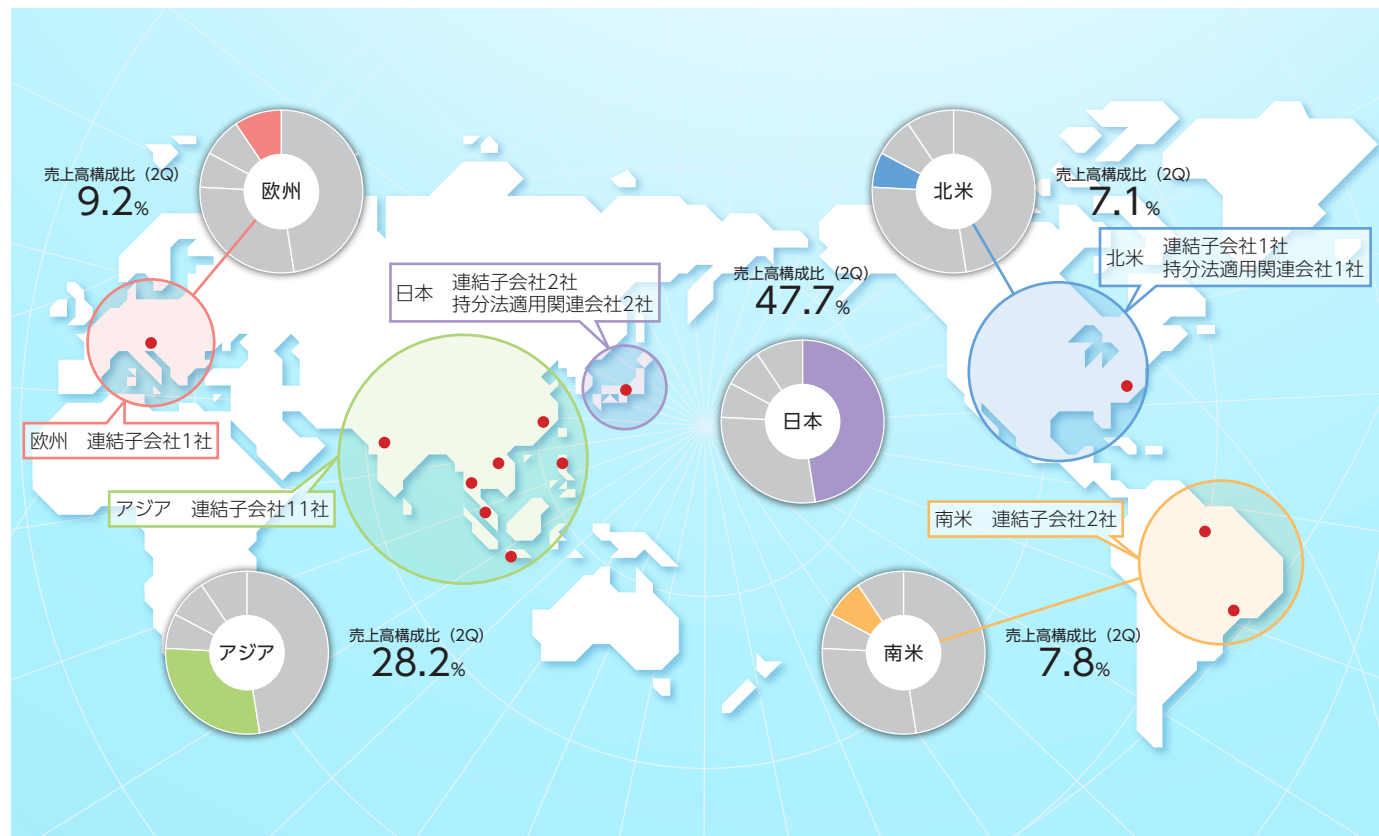
第2四半期
経常利益
27.1%減
(前年同期比)

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



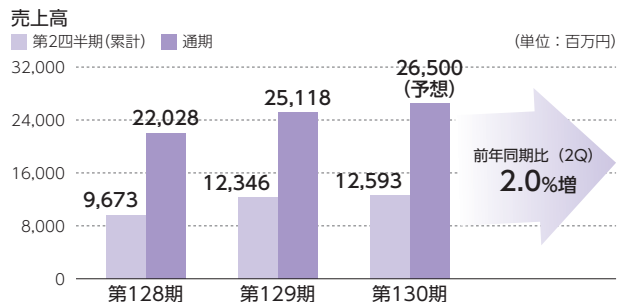
第2四半期
親会社株主に帰属する四半期
純利益
42.0%減
(前年同期比)

所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）



● 日 本

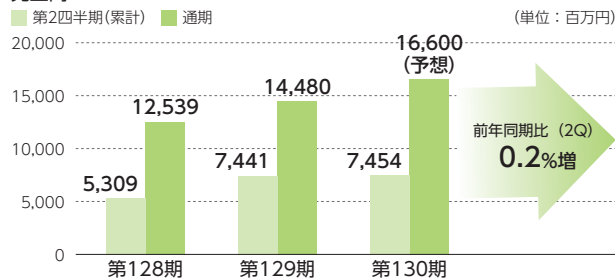
完成車メーカー向け二輪車用チェーン、アルミリムの受注が好調に推移したものの、コンベヤ案件の受注が低調に推移したことに加え、原材料価格やエネルギー価格の高騰の影響を受け、外部顧客への売上高は125億93百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は2億81百万円（前年同期比61.7%減）となりました。



● アジア

円安による為替換算の影響を受けたものの、前年同期は中国においてコンベヤ案件の受注が好調であったことに加え、当期における原材料価格やエネルギー価格の高騰の影響を受け、外部顧客への売上高は74億54百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は1億71百万円（前年同期比66.2%減）となりました。

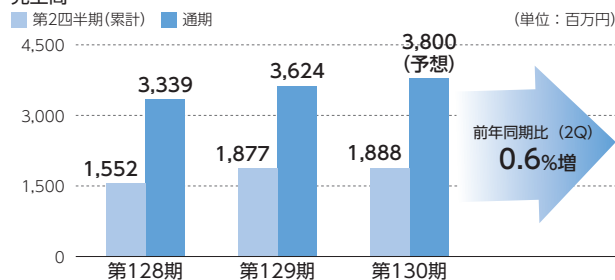
売上高



● 北 米

円安による為替換算の影響を受けたものの、前第1四半期において、IWIS-DAIDO LLC（持分法適用会社）を事業分離により設立後、前第4四半期より連結子会社DAIDO CORPORATION OF AMERICAが米国における自動車部品事業の商流から外れたことに加え、当期における原材料価格やエネルギー価格の高騰の影響を受け、外部顧客への売上高は18億88百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は96百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

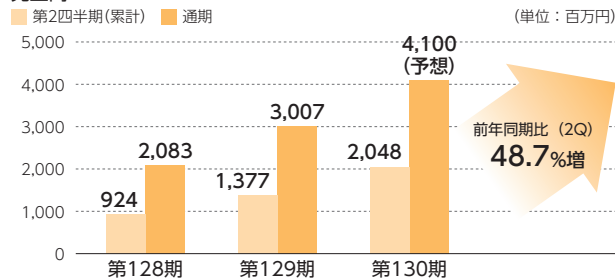
売上高



● 南 米

二輪車用チェーン及び産業機械用チェーンの受注が好調に推移したことに加え、円安による為替換算の影響もあり、外部顧客への売上高は20億48百万円（前年同期比48.7%増）、営業利益は95百万円（前年同期比74.4%増）となりました。

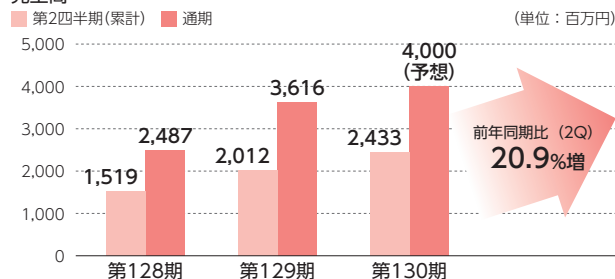
売上高



● 欧 州

補修市場向けにおいて、二輪車用チェーンの受注が好調に推移したことから、外部顧客への売上高は24億33百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益は2億11百万円（前年同期比49.8%増）となりました。

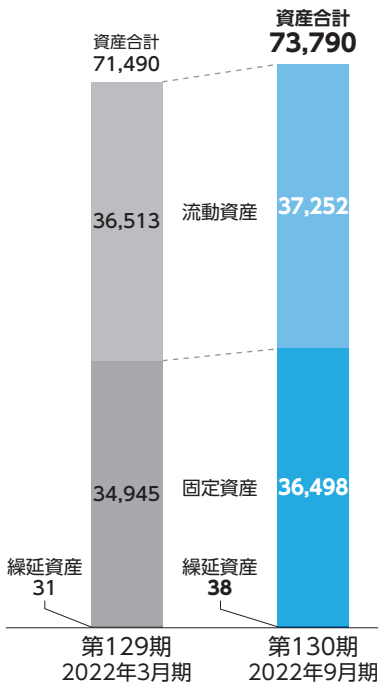
売上高



財務の状況（連結）

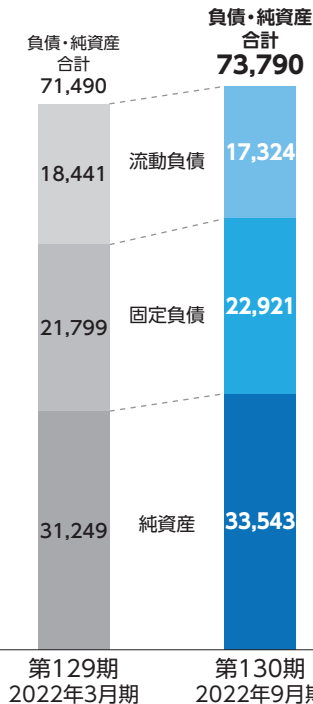
資産の部

単位：百万円



負債及び純資産の部

単位：百万円

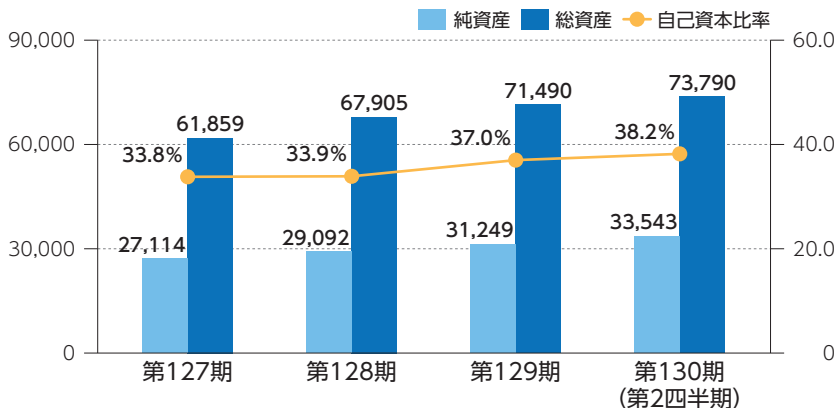


ポイント解説

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産、機械装置及び運搬具が増加したことなどにより前期末と比べ22億99百万円増加しました。負債につきましては、借入金が減少したものの、支払手形及び買掛金、賞与引当金が増加したことなどにより前期末と比べ5百万円増加しました。

純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

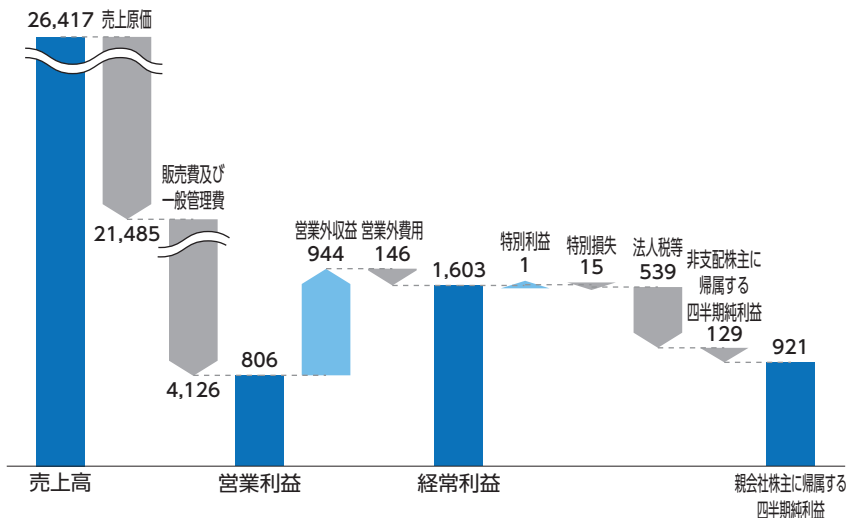


ポイント解説

自己資本比率は、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末と比べ1.2ポイント増加の38.2%となりました。

● 損益の状況 (2022年4月1日～2022年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

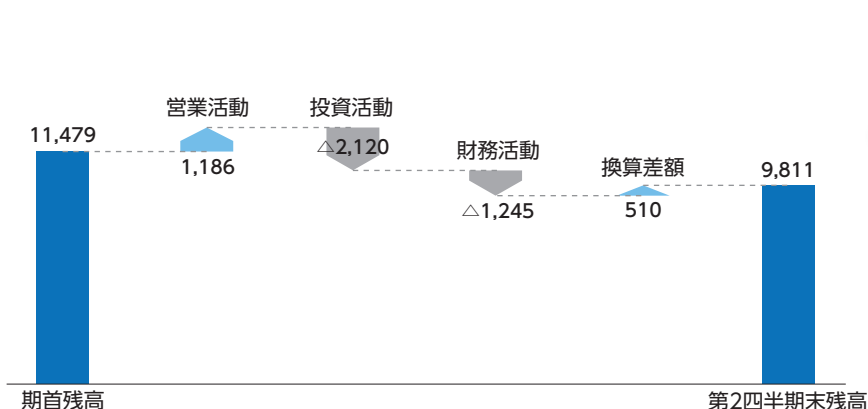
売上面では、北米における合併会社設立に伴い連結子会社が自動車部品事業の商流から外れたものの、円安による為替換算の影響もあり、前年同期を上回りました。利益面では、原材料価格やエネルギー価格の急激な高騰の影響を受け、営業利益、経常利益、四半期純利益においていずれも前年同期を下回りました。

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
第130期	2022年9月期	26,417	806	1,603	921
第129期	2021年9月期	25,055	1,662	2,201	1,587

● キャッシュ・フローの状況 (2022年4月1日～2022年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上、仕入債務の減少等により、11億86百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により21億20百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純減額、配当金の支払、非支配株主への配当金の支払等により、12億45百万円の使用となりました。

会社の概況

商 号：大同工業株式会社
 設立年月日：1933年5月25日
 資本金：35億3,651万円
 従業員：802名（個別） 2,427名（連結）

（注）上記従業員数には、定年後再雇用社員は含んでおりません。

事業所

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地
 福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
 動橋工場：石川県加賀市動橋町中22-1
 東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4（オーキッドプレイス人形町三丁目）
 札幌営業所：札幌市東区北18条東18-1-3
 栃木営業所：宇都宮市東宿郷4-2-20（KDビル）
 浜松営業所：浜松市北区三方原町1130-2
 名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7
 大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12（新家ビル）
 西日本営業所：福岡市博多区博多駅南1-3-6（第三博多偕成ビル）
 熊本営業所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

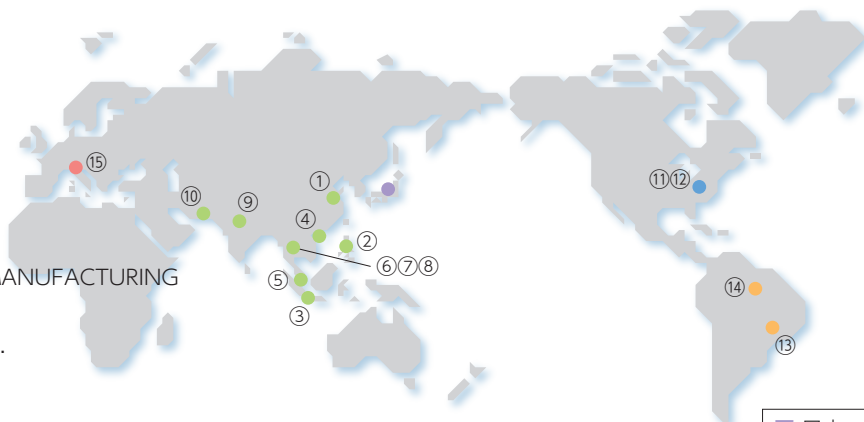
グローバルネットワーク

国内ネットワーク

- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行
- 株式会社スギムラ精工

海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条（常熟）有限公司
- フィリピン ② D.I.D PHILIPPINES INC.
- インドネシア ③ P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ④ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- マレーシア ⑤ DID MALAYSIA SDN. BHD.
- タイ ⑥ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑦ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑧ INTERFACE グループ（3社）
- インド ⑨ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- パキスタン ⑩ ATLAS DID (PRIVATE) LTD.
- アメリカ ⑪ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- アメリカ ⑫ IWIS-DAIDO LLC
- ブラジル ⑬ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑭ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑮ DID EUROPE S.R.L.



- 日本
- アジア
- 北米
- 南米
- 欧州

会社役員の場合

会社における地位	氏名
代表取締役会長	新家康三
代表取締役社長	新家啓史
常務取締役	菊知克幸
常務取締役	清水俊弘
取締役	眞田昌則
取締役	石村外志雄
取締役 監査等委員（常勤）	梶谷清浩
取締役 監査等委員（社外）	澤保
取締役 監査等委員（社外）	坂下清司
取締役 監査等委員（社外）	武市祥司

（注） 1. 澤保氏、坂下清司氏、武市祥司氏は社外取締役であります。
 2. 当社は、澤保氏、坂下清司氏、武市祥司氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所へ届出しております。

株式の状況

発行可能株式総数：32,000,000株

発行済株式総数：10,924,201株（自己株式1,580株含む）

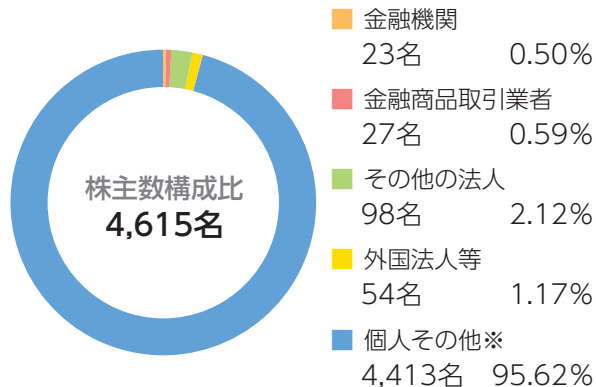
株主数：4,615名

大株主（上位10名）

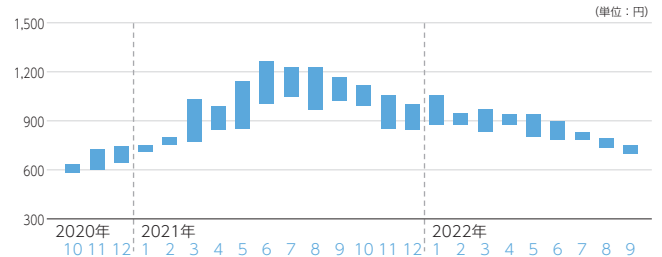
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	956千株	8.76%
株式会社 飯田	547	5.01
株式会社 北國銀行	542	4.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	533	4.89
日本生命保険相互会社	275	2.52
加賀商工有限会社	262	2.41
大同生命保険株式会社	259	2.38
株式会社みずほ銀行	258	2.36
株式会社三菱UFJ銀行	258	2.36
新家萬里子	257	2.36

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

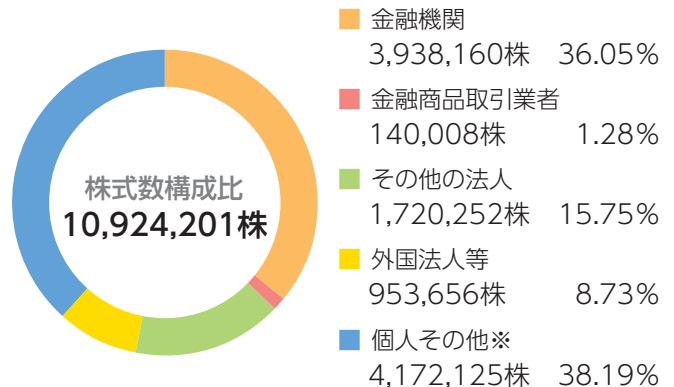
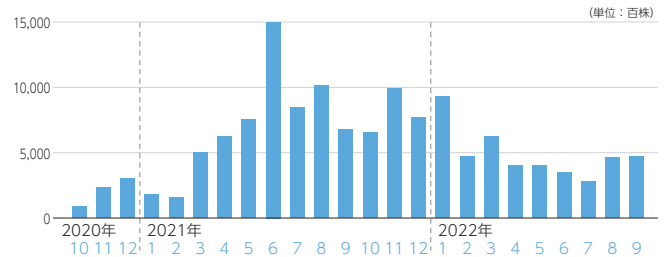
株式分布状況



株価（高値・安値）の推移



出来高の推移

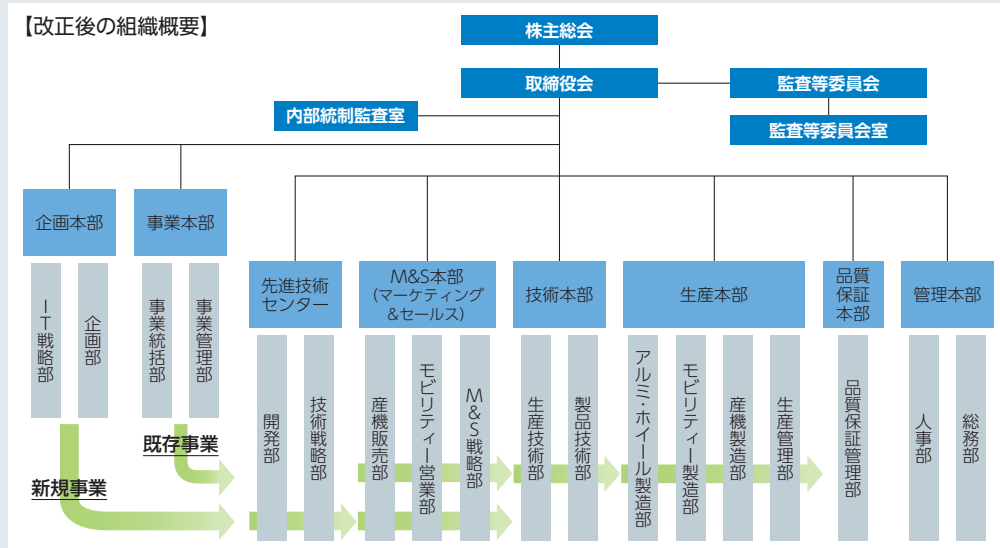


※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

■ 組織改正の実施

既存事業の更なる拡大に加え、スピード感をもった新規事業／商品の創出を強力に推進することを念頭に、当社組織の大幅な改正を実施しました。新たな組織の下で全社一丸となり、社会発展への貢献と企業価値の向上に向けて取り組んでまいります。

【改正後の組織概要】



【組織改正のポイント】

- ・事業部制から機能本部制への移行、及び縦軸を機能、横軸を事業としたマトリックス管理
- ・新規事業等を統括・推進する企画本部と、既存事業を統括・推進する事業本部の設立
- ・先行開発を担う先進技術センターの設立

■ ホームページに技術紹介を追加

ステークホルダーの皆様への情報発信の拡充の一環として、当社ホームページを更新し、保有技術の紹介ページを、追加しました。

当社が保有する設計、製造技術等を網羅的に紹介すると共に、チェーンをはじめとした当社製品の開発・製造において培った当社のコア技術である「塑性加工技術」「表面処理技術」を詳しく紹介しています。

チェーンやリム・ホイールといった当社主力製品のみならず、培ったこれらの技術を組み合わせることにより、これまでの製品の枠にとらわれない新たな価値を創出し、社会発展へ貢献することを目指しています。

大同工業ホームページ： <https://www.did-daido.co.jp/technology/>



■ 「PLUS KAGA」 の共創パートナーに就任



地方創生活動を推進する為、石川県加賀市で実施される全国の大学生を対象としたまちづくりワークショップ「PLUS KAGA」の共創パートナーに就任しました。

【PLUS KAGAとは】

株式会社FOLKが運営する、大学生が加賀市でのフィールドワークから自分のテーマを発見し、実践を行い、自分たちが考えたまちのありかたを提案する、というまちづくりの流れが体験できる、加賀市を実施拠点とした夏の熱い滞在型地域まちづくりプログラムです。

カーボンニュートラル、高齢化、デジタル化、人口減少といった地域課題に対し、「加賀市の魅力」、「大学生の自由な発想」、「大同工業の技術」を掛け合わせ、加賀市とより深くつながりながら、創業の精神でもある地域イノベーションを起こし、地域の魅力発信や課題解決に貢献していくことを目指しています。

PLUS KAGA公式サイト： <https://pluskaga.org/>

株式会社FOLK公式サイト： <https://www.f-o-l-k.jp/>

■ プロ野球 阪神タイガースとのスポンサー契約を締結

プロ野球 阪神タイガースの2022年シーズンにおけるシルバーパートナーとしてスポンサー契約を締結しました。また、球団のレジェンドOBであるミスタータイガース・掛布雅之氏にも「DIDブランドアンバサダー」としてご協力いただけることとなりました。

当社が本社を置く石川県加賀市は日本初のプロ野球チーム創設者である故 河野安通志（こうのあつし）氏の出生地でもあります。

このご縁を大切に、こちららご縁のあった阪神タイガースに協賛させていただくことでプロ野球界のみならず、地域の活性化にも貢献していきたいと考えております。

【主な協賛内容】

- ・ 阪神甲子園球場に企業広告看板を設置 ・ 冠協賛試合の開催
- ・ 「阪神タイガースDIDアワード」の創設
※YouTube番組「虎バンチャンネル」とタイアップ
- ・ 掛布氏の来社／従業員への講演等



※阪神タイガース スポンサー紹介ページ： <https://m.hanshintigers.jp/sponsor.html>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
単元株式数	100株		
単元未満株式の 買取制度	1単元	(100株)	
	単元未満株式	(1から99株)	
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末 3月31日	
		中間 9月30日	
	そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日		
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先)	☎ 0120-782-031		
(インターネットHP URL)	https://www.smtb.jp/Personal/procedure/agency/		
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) https://www.did-daido.co.jp/jp/index.html		
上場取引所	東京証券取引所		
証券コード	6373		

株主さま向け
アンケート

株主の皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス

②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6373

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……

検索窓から

kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)
を呈呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニ
ケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスに
より実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

